

災害時医療機関対応機能調査等の 集計結果について

令和8年10月1日
宇和島圏域災害医療対策会議事務局



1. 調査の目的

- ✓ 平常時から「入院患者を受け入れている病院・診療所」や「各市町が設置する避難所・救護所」の災害への対応状況を把握するため。
- ✓ 災害発生時に適切な医療救護活動を実施するため。

2. 調査の実施方法

- ✓ 管内12病院、8 有床診療所、 4 市町（避難所・救護所）を対象に実施。
- ✓ 調査は毎年度10月 1 日時点。
- ✓ 対象機関にメールで用紙を送付し、回答を依頼。
- ✓ 令和 7 年度調査の回答率は95%。

3

3. 集計結果について

- ✓ 主要な項目の数値をもとに、圏域内の傾向をまとめたもの。
- ✓ 昨年10月時点の情報であるため、それ以降で更新があったものについては、反映できていない。

4

4. 医療機関の集計結果 ～施設整備状況～

	施設の整備状況						
	耐震化			備蓄倉庫	自家発電装置	ポータブル発電機	
	全体	一部	なし・未回答				
病院 (12施設)	9 75.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	10 83.3	9 75.0	(施設数) (%)
有床診療所 (8施設)	2 25.0	0 0.0	6 75.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	(施設数) (%)

- ✓ 病院では75%で耐震化済みであるが、有床診療所は25%にとどまる。
- ✓ 病院における発電設備は、75%以上で確保。

5

4. 医療機関の集計結果 ～備蓄状況～

	備蓄等の状況(3日以上)					
	応急用医薬品	食糧	飲料水	医療用品	医療ガス	
病院 (12施設)	9	11	11	11	10	(施設数)
	75.0	91.7	91.7	91.7	83.3	(%)
有床診療所 (8施設)	3	3	3	4	3	(施設数)
	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5	(%)

- ✓ 11病院で、食糧、飲料水、医療用品を3日以上備蓄している。
- ✓ 有床診療所で備蓄できているのは3～4施設。

6

4. 医療機関の集計結果 ～ソフト面の整備～

	ソフト面の整備状況						
	災害対策委員会設置	災害時対応マニュアル	BCP災害時対応マニュアル	入院患者等の避難計画	災害対応訓練	災害対応研修	
病院 (12施設)	10	10	8	11	9	3	(施設数)
	83.3	83.3	66.7	91.7	75.0	25.0	(%)
有床診療所 (8施設)	3	6	0	3	5	0	(施設数)
	37.5	75.0	0.0	37.5	62.5	0.0	(%)

- ✓ 災害時対応マニュアルは、病院83%、有床診療所75%で整備。
- ✓ BCPマニュアルや災害対応研修は、全有床診療所に対応なし。
- ✓ 訓練実施率は、病院・有床診療所とも比較的高い。

7

5. 医療機関における傾向について

- ✓ 耐震化や備蓄、ソフト対策のほぼ全ての項目において、病院の対策が先行しており、有床診療所での対応の遅れが見られる。
- ✓ 病院においては、自家発電装置の整備や食糧や飲料水の備蓄率が高く、災害時の拠点として機能維持能力を有している。
- ✓ 圏域内で災害時対応マニュアルの策定は進んでいるものの、BCP作成や災害対応研修実施に課題がある。

8

6. 宇和島市（避難所・救護所）の状況

	施設の整備状況					備蓄等の状況							
	耐震化	自家発電設備	受水槽	AED	医務室	応急医薬品	食糧	飲料水	簡易ベッド	毛布	簡易トイレ	エアコン	扇風機
令和7年度 (193施設)	100	46	51	100	52	81	63	75	81	91	78	157	144
	51.8	23.8	26.4	51.8	26.9	42.0	32.6	38.9	42.0	47.2	40.4	81.3	74.6

(上段：施設数、下段：%)

- ✓ 耐震化率が51%。（集会所の耐震化率が低い）
- ✓ 自家発電設備の導入率が圏域内で最も高い。
- ✓ エアコン、扇風機の整備が進んでいる。

9

7. 松野町（避難所・救護所）の状況

	施設の整備状況					備蓄等の状況							
	耐震化	自家発電設備	受水槽	AED	医務室	応急医薬品	食糧	飲料水	簡易ベッド	毛布	簡易トイレ	エアコン	扇風機
令和7年度 (9施設)	9	0	1	8	0	0	7	7	7	7	7	6	1
	100.0	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	66.7	11.1

(上段：施設数、下段：%)

- ✓ 公的施設が指定されており、耐震化率が100%。
- ✓ 自家発電設備、医務室、応急医薬品が未整備。
- ✓ 食糧、飲料水等の備蓄率が高い。
- ✓ 受水槽の整備は1施設にとどまる。

10

8. 鬼北町（避難所・救護所）の状況

	施設の整備状況					備蓄等の状況							
	耐震化	自家発電設備	受水槽	AED	医務室	応急医薬品	食糧	飲料水	簡易ベッド	毛布	簡易トイレ	エアコン	扇風機
令和7年度 (19施設)	18	3	11	16	8	5	7	7	14	16	10	17	15
	94.7	15.8	57.9	84.2	42.1	26.3	36.8	36.8	73.7	84.2	52.6	89.5	78.9

(上段：施設数、下段：%)

- ✓ 19施設のうち、18施設で耐震化済み。
- ✓ 自家発電設備、応急医薬品の備蓄率が低い。
- ✓ 簡易ベッド、毛布、エアコン、扇風機は73%以上で整備。

11

9. 愛南町（避難所・救護所）の状況

	施設の整備状況					備蓄等の状況							
	耐震化	自家発電設備	受水槽	AED	医務室	応急医薬品	食糧	飲料水	簡易ベッド	毛布	簡易トイレ	エアコン	扇風機
令和7年度 (55施設)	51	3	14	39	20	1	16	15	16	30	4	29	34
	92.7	5.5	25.5	70.9	36.4	1.8	29.1	27.3	29.1	54.5	7.3	52.7	61.8

(上段：施設数、下段：%)

- ✓ 55施設のうち、51施設で耐震化済み。
- ✓ 自家発電設備、応急医薬品、簡易トイレの備蓄率が低い。
- ✓ 毛布、エアコン、扇風機が半数以上で整備。

12

10. 市町における傾向について

- ✓ 圏域全体では、施設の耐震化率やエアコンの整備率が高い。
- ✓ 自家発電設備や受水槽の整備状況が低いことから、停電・断水時のライフライン確保に課題が残る。
- ✓ 施設数が少ない自治体ほど、物資の配備が行き届いている。

13

11. 今年度の調査に向けて

- ✓ 今年度も10月 1 日時点での更新依頼をする予定。
- ✓ 未回答・検討中の項目について
⇒対応が進んでいるか引き続き確認する。
- ✓ 表現が不揃いの項目（意図が不明で集計できない箇所あり）
⇒統一させて精度を上げる。

14

ご清聴ありがとうございました。

**調査対象機関におかれましては、
引き続き調査へのご協力を
よろしくお願いいたします。**